

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2025 年 6 月 24 日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	文学部文学科英米文学専攻
留学(渡航)した時の学年	2 年生
帰国年月日	2025 年 6 月 23 日
明治大学卒業予定年月	2027 年 3 月
留学先大学について	
留学先国	フランス
留学先大学	リール・カトリック大学(日本語名) Universite Catholique de Lille(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	フランス語/ 英語
留学期間	2024 年 8 月～2025 年 6 月
留学先大学で在籍した学年	2 年生
留学先の所属学部等	☒ 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 人文学部 現地言語での名称: FLSH,ISTC ☐ 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している ☐ その他:
形態	☐ 国立 ☐ 公立 ☒ 私立 ☐ その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 9 月上旬～12 月下旬 2 学期: 1 月上旬～5 月上旬 3 学期: 4 学期:
学生数	42, 000 人
創立年	1877 年

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 (ユーロ) (1 現地通貨 = 165 円)	B 日本円	備考
授業料		0 円	明治大学に授業料振り込み
宿舍費	5070	円	507€ × 10
食費	約 2400	円	
図書費		0 円	
学用品費		0 円	
携帯・インターネット費	290	円	
現地交通費		0 円	(☒ 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		0 円	
旅費(留学中)	約 1818	円	
被服費	121	円	冬物、夏物購入
医療費		0 円	
保険費		104780 円	形態: 明大サポート
渡航旅費		530000 円	往復飛行機代
ビザ申請費	100	15600 円	VISA50€ + 15600 円 VISA 有効化 50€
雑費	18	円	
その他		円	
その他		円	
合計 ※現地通貨 および 円	9817€ (=1619, 805 円)	634, 936 円	
総計(A+B) ※円		2254, 741 円	

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

渡航関連

渡航経路

往路 出発地：羽田 目的地：パリ 経由地：

復路 出発地：ロンドン 目的地：羽田 経由地：

渡航費用

① 往復チケットを購入した場合

航空会社：

料金：

② 片道ずつチケットを購入した場合

往路 航空会社：エアフランス 料金：250000

復路 航空会社：JAL 料金：280000 ∴合計：530000

航空券購入方法

☐ 旅行代理店(店名：)

☒ インターネット(サイト名：HIS)

☐ その他()

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例：アパート、大学の宿舎等)

☒ 学生寮(寮の名前：Valentine) ☐ アパート ☐ ホームステイ

2) 部屋の形態

☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数)

3) 共有部分

☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)

4) 住居を探した方法：

大学の寮紹介サイト

5) 感想：(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

大学から一番近く、100 人ほどが住む寮です。古い個所もありますがなれば生活に困らず何よりもアクセスがよいと思います。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。 (例：現地の病院、学内の診療所)
☒ なし ☐ あり (治療を受けた場所:)
2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例：留学先大学の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:)
3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
なるべく暗い時間に一人で外出しないこと。大学と寮の付近は比較的治安が良かったです。
4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例：寮のインターネット接続が不安定で 1 週間に 1 度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)
寮の wi-fi は接続が良いほうだと思います。基本的には FREE mobile という会社の SIM を使っていました。基本問題はありません。
5) 現地での資金調達はどのように行いましたか？ (例：現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)
現地の銀行に何度か送金してもらいました。旅行の時などにクレジットカードを使ったりもしていました。現金を使うことも多かったです。
6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。
日本の調味料
7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。 (例：渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)	
1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
45 ECTS 単位	☐ 単位 ☐ 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
☒ 出発前 ☒ 出発後 ☐ 派遣先大学の事務室 ☐ オンライン ☐ メール ☐ その他() ☐ 履修の制限があった:	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
French for International students	フランス語
科目設置学部・研究科	FLSH
履修期間	1 年
単位数	3 × 2
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回
担当教授	
授業内容	特にスピーキングを重視
試験・課題等	課題は少ない。試験は一学期間に 2 回
感想を自由記入	最初に受けるテストの結果を基にクラス分けがされる。後期は前期の一つレベルが上がったクラスになる。

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Understanding Contemporary France		現代フランス社会の理解
科目設置学部・研究科	FLSH	
履修期間	秋	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義 (チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回	
担当教授		
授業内容	現代フランス社会、文化を幅広く扱う	
試験・課題等	レポート、プレゼン	
感想を自由記入	教授のパワポを基に授業が進む。 現地生徒はいなかった。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Tutoring		
科目設置学部・研究科	FLSH	
履修期間	1 年	
単位数	2	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	チュートリアル(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 60 分が 1 回	
担当教授		
授業内容	現地学際がレベルに合わせてフランス語を教えてくれる	
試験・課題等	担当によるが 1 度テストがある	
感想を自由記入	自分たちのレベルに合わせて柔軟に授業をしてくれる。担当によって当たりはずれがあるように感じた。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
British Bestsellers since 1945		
科目設置学部・研究科	FLSH	
履修期間	秋	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義・チュートリアル(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 60 分が 2 回	
担当教授		
授業内容	1 回目の 60 分で作品と作者、時代背景などの講義を受け、2 回目の 60 分で抜粋された文章の分析をする	
試験・課題等	2 度の試験 内容理解、エッセイ	
感想を自由記入	毎授業取り扱う作品が変わり面白い。最後はハリー・ポッターだった。試験は書き方に慣れないと最初は難しい。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Survey of English Literature to 1945		
科目設置学部・研究科	FLSH	
履修期間	秋	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義・チュートリアル(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 60 分が 2 回	
担当教授		
授業内容	1 回目の 60 分で作者、作品、時代背景など概要を学び 2 回目の 60 分で抜粋文章を分析する	
試験・課題等	2 度の試験。内容理解とエッセイ。	
感想を自由記入	こちらも毎授業取り扱う作品が変わるので楽しい。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Written Expression in English		
科目設置学部・研究科	FLSH	
履修期間	秋	
単位数	2	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回	
担当教授		
授業内容	英語の文法、文章作成	
試験・課題等	筆記試験が 1 回	
感想を自由記入	英語の文法をもう一度見直すような授業だった。様々なレベルがあるので自分に合ったレベルで学ぶことができる。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
American History in Pop Culture		
科目設置学部・研究科	FLSH	
履修期間	春	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回	
担当教授		
授業内容	アメリカの歴史的出来事とそれに関連した映画、♪などの幅広いカルチャーを取り上げる	
試験・課題等	課題はほとんどなし。中間はプレゼン。最後にエッセイの試験	
感想を自由記入	ただの歴史の授業ではなくゲームや自分たちで考える時間が多く楽しく歴史が学べる。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
English Grammar 4		英語文法
科目設置学部・研究科	FLSH	
履修期間	春	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回	
担当教授		
授業内容	英語文法。名詞、形容詞、接続詞の使い方	
試験・課題等	2 回の筆記試験	
感想を自由記入	いざ聞かれると戸惑うような基礎であるが難しい文法の際確認という感じだった。現地の生徒も多かった。秋もとればよかったと後悔したので通年でとるとよい。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
The Short Story		短編作品
科目設置学部・研究科	FLSH	
履修期間	春	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義・チュートリアル(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 60 分が 2 回	
担当教授		
授業内容	アメリカ文学、特に短編を中心に毎授業違う作品を扱う。講義形式で概要を学んだあと、抜粋文章の分析をする	
試験・課題等	二回の筆記試験、内容理解とエッセイ	
感想を自由記入	グループで話し合い分析する問い事が多かった	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Literature: "A World of Things": the Makings and Breakings of the American Dream		アメリカ文学
科目設置学部・研究科	FLSH	
履修期間	春	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義・チュートリアル(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回	
担当教授		
授業内容	アメリカンドリームに着目しそれに関する長編作品を 3 作品扱った。	
試験・課題等	2 回の筆記試験	
感想を自由記入	そのほかの文学の授業を受けている学年よりも一つ上の学年の生徒たちが受ける授業だったためレベルが高かった。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Tracing American Literature from its early Manifestations until the Modernist Period		アメリカ文学
科目設置学部・研究科	FLSH	
履修期間	春	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義・チュートリアル(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 60 分が 2 回	
担当教授		
授業内容	初期のアメリカ文学作品からモダニズム時代までの数々の作品を扱う。中間までは短編が主だが、それ以降は長編を扱った	
試験・課題等	筆記試験が 2 回	
感想を自由記入	教授と生徒の距離が近く和やかだった。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Written Expression in English 6		
科目設置学部・研究科	FLSH	
履修期間	春	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	チュートリアル(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に60分が1回	
担当教授		
授業内容	楽器を通して2つの記事を書く。	
試験・課題等	記事、筆記試験	
感想を自由記入	授業は個人作業の時間もあればグループセッションもある。筆記試験ではニュースを読み自分でエッセイを書く。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
French as a foreign language		
科目設置学部・研究科	ISTC	
履修期間	秋	
単位数	4	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	チュートリアル(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に120分が1回	
担当教授		
授業内容	会話中心のフランス語	
試験・課題等	筆記テスト	
感想を自由記入	内容は一度習ったことであったが日常会話を中心にスピーキングを重点的にできたためよかった	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Intercultural Communication		
科目設置学部・研究科	ISTC	
履修期間	秋	
単位数	2	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	チュートリアル(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に120分が1回	
担当教授		
授業内容	グループワークを中心に異文化理解をしていく授業	
試験・課題等	プレゼンテーション	
感想を自由記入	自分の中に無意識にある価値観や偏見、他の文化について学べた。	

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

☐就職 ☐進学 ☒未定 ☐その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。
内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。
就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1 月 ～ 3 月	
	4 月 ～ 7 月	語学試験勉強
	8 月 ～ 9 月	英語試験
	10 月 ～ 12 月	出願、面接
留学開始年	1 月 ～ 3 月	結果発表
	4 月 ～ 7 月	寮決め ビザ準備
	8 月 ～ 9 月	渡航
	10 月 ～ 12 月	学校 中間、期末試験
留学/帰国年	1 月 ～ 3 月	学校 中間試験
	4 月 ～ 7 月	学校、期末試験、帰国
	8 月 ～ 9 月	
	10 月 ～ 12 月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生活全般等について、アドバイスを記入してください。

私が留学先をフランスに決めた理由はフランスの歴史と文化、国民性に惹かれたからです。高校生の時に学んだ歴史の授業をきっかけにフランスに興味を持つようになり、第二外国語もフランス語を選択しました。正直自分の専攻である英米文学とフランスという二つに接点を見つけることができず英語圏に行くべきかとも考えましたが、初めての留学という大きな決断において自分の興味のある国を選んでよかったと思っています。実際、フランスでフランス人の学生と文学を学ぶのはとても楽しかったですし、現地の学生のレベルの高さにいい刺激をもらいました。リール・カトリック大学はとても大きな大学で生徒たちにもぎやかで勉強熱心な人が多く、留学先にとってもいい学校だと感じました。

留学中は本当にいろいろな国からやってきた人たちと出会い、年齢、国籍、文化の違う人たちから毎日多くの刺激をもらえます。私は友達を作ることが苦手ですが、自然と授業や寮で人と関わることができました。留学は周りに自分と全く違う人がいるという環境を利用して新しい価値観や考え方を学ぶ大きなチャンスであるといえると思います。もし留学を迷っている人がいたらぜひこのチャンスを逃さないでほしいと思います。どこであろうと留学を通して新しい発見ができると思います。

大学入学前から留学を考えていましたが、留学準備は思っているよりも大変です。なるべく早めに準備に取り掛かる事をおすすめします。

皆さんの留学が素敵な経験になることを願っています。